



骨髄バンク発 応援メッセージ動画 「ツナガル、イノチ。」

移植を経験したスポーツ選手、骨髄を提供した俳優など10名の著名人による

「今だから伝えたいメッセージ」9月17日(木)公開

公益財団法人日本骨髄バンク
理事長 小寺良尚

9月19日(土)は「世界骨髄バンクドナーデー (World Marrow Donor Day)」(※)。この日に先駆けて公益財団法人 日本骨髄バンクでは移植を待つ患者さんに向けた応援メッセージ動画を公開します。

テーマは、「ツナガル、イノチ。」

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、不安を抱えながら今も移植を待つ患者さんがいます。一方で、感染に対する不安な気持ちを乗り越えて、見ず知らずの患者さんに骨髄等を提供してくださるドナーさんがいます。

今回の動画は、私たちの生活を脅かす不安の中でも誰かの思いでつながっている命や希望があることを伝え、また、今も移植を待つ患者さんに応援のメッセージを届けたいという思いで制作しました。



移植を受けて病気を克服された方、現在もなお闘病中の方、骨髄バンクを通じて骨髄を提供した方など10名の著名人のみなさんからメッセージをお寄せいただいています。

制作にあたり、シンガーソングライターの岡村孝子さんから代表曲「夢をあきらめないで2011」をご提供いただきました。岡村さんご自身も昨年急性白血病を発症し、さい帯血移植を受けて病と闘っています。岡村さんの温かく凜とした歌声と共にメッセージをお届けします。

- 配信期間 令和2年9月17日(木)～12月末(予定)
- 媒体 骨髄バンク公式YouTube (<https://www.youtube.com/user/jmdpmv>) で公開予定
※動画は上記URLのページに17日以降の掲載となります。
- 出演者 早川史哉(サッカー選手) 山中伸弥(京都大学iPS細胞研究所所長・教授)
(敬称略) 上原浩治(元メジャーリーガー) 水谷さるころ(イラストレーター・漫画家)
北別府 学(元広島東洋カープ投手) など ※詳細は別紙ご参照ください
- 内容 上記ほか10名の出演者による応援メッセージ(5分55秒)

(※) 「世界骨髄バンクドナーデー」…毎年9月の第三土曜。世界中の造血幹細胞移植のドナーに感謝し、ドナーについて多くの人に知ってもらうことを目的に2015年に定められました。

<本件に関する> お問い合わせ> 公益財団法人 日本骨髄バンク
広報渉外部 担当：小島、田中
電話03-5280-8111 (平日9時～5時半)
メールアドレス kojima@jmdp.or.jp shin-tanaka@jmdp.or.jp

(別紙)

【出演者一覧】 (出演順・敬称略)

早川史哉	アルビレックス新潟所属 サッカー選手	2016年急性リンパ性白血病発症 同年骨髄移植
山中伸弥	京都大学iPS細胞研究所所長・教授 公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団 理事長	
上原浩治	元メジャーリーガー	2006年ドナー登録
水谷さるこ	イラストレーター・漫画家	2011年ドナー登録 2018年骨髄提供
北別府 学	元広島東洋カープ 投手	2020年成人T細胞白血病公表 同年 末梢血幹細胞移植
大江麻理子	テレビ東京 ワールドビジネスサテライト キャスター	2007年ドナー登録
ノブハヤシ	ドージョーチャクリキ・ジャパン 館長 格闘家	2008年急性白血病発症 2010年骨髄移植
瀬古利彦	横浜DeNAランニングクラブ エグゼクティブアドバイザー 元マラソンランナー	患者家族
木下ほうか	俳優・骨髄バンクアンバサダー	2005年ドナー登録 2009年骨髄提供
岡村孝子	シンガーソングライター	2019年急性白血病を公表 同年 さい帯血移植

※このほか、動画のオープニングで移植を受け、病気を克服された14名の移植経験者のみなさんにお写真でご登場いただいています。

【骨髄バンクについて】

■骨髄バンクとは

公益財団法人 日本骨髄バンク（東京都千代田区。理事長 小寺良尚）は、白血病等の血液疾患の患者さんを救命するため、広く国民の皆さまから骨髄等の提供希望者（ドナー）を募り、患者さんへ骨髄等を提供する橋渡しを行っています。

■骨髄バンクの現状

令和2年8月末現在

- ・ドナー登録者現在数 528,586人
- ・患者登録現在数 1,856人
- ・累計移植例数 24,632例

■新型コロナウイルス感染症と骨髄バンク

新規ドナー登録者数への影響

2020年4月873人、5月782人、6月1,562人、7月2,392人、8月2,667人

⇒3月までは例年を上回る月平均3,000人前後でしたが、4月、5月は大幅に減少。

緊急事態宣言解除後の6月以降は回復傾向にあり、8月は2,667人と例年の9割まで持ち直しています。

企業・学校・ショッピングセンター・駅前等で行われる献血会場でのドナー登録活動がほとんど出来なかったことが大きく影響しました。